

みどり病院の
理念

- 私たちは、地域の人々が健やかに安心して暮らせる医療環境づくりに貢献します。
- 一般急性期医療を軸に、予防医学から在宅医療までをカバーし、地域の医療ニーズに応えます。
- 患者様の権利を尊重し、十分な説明を行い、安全で良質な医療を提供します。
- 近隣の医療・介護・保健機関と協力し、地域の人々の健康と安心を支える病院をめざします。
- 専門知識の習得や技術の向上に努め、医療レベルの向上に努めます。

みどり病院の
基本方針

診療担当表が新しくなりました

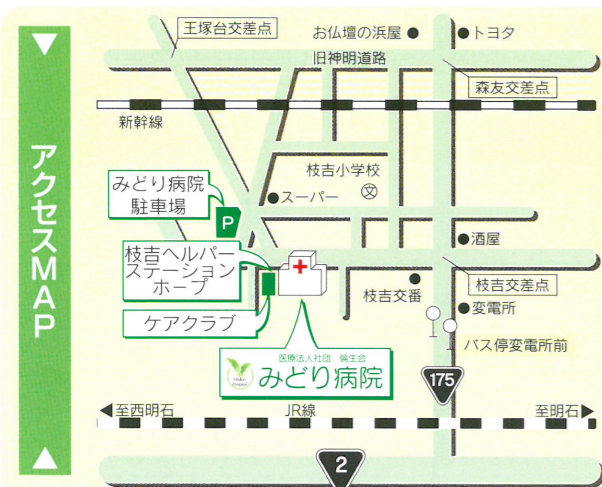
(平成22年1月4日～)

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 (受付 8:30~12:00)	内科	I 診	イナ 稲波 マエ 前 川	マエ 前 川 サ 佐 伯	イナ 稲波 マエ 前 川	ムロ 室 生	交代制 稲波 波 佐伯 伯
		II 診	サ 佐 伯 エキ 伯	シ 清 水 ミズ 水	ミヤ 宮 川 ガフ 川	シ 清 水 ミズ 水	交代制
	III 診	ヌカ 額 田 ダ 田	*	ナラ 櫛 林 10:00~	*	*	
	外科 整形外科	ヤ 矢 部 ベ 部	ヤ 矢 部 タカ 高	ベ 部 クラ 倉	キ 木 戸 整形 担当 医	ヤ 矢 部 ベ 部	整形 担当 医
夜間 17:00~19:30 (受付 16:30~19:30)	内科	I 診	マエ 前 川 カフ 川	イナ 稲波 ナミ 波	サ 佐 伯 エキ 伯	イノ 井 上 ウエ 上	シ 清 水 ミズ 水
		II 診	担当 医	ハ 長 谷 川 セ 谷 川	オオ 大 西 ニシ 西	担当 医	担当 医
17:00~19:00 (受付 16:30~19:00)	外科 整形外科	(休 診)	(休 診)	整形 担当 医	ヤ 矢 部 ベ 部	整形 担当 医	

☆急患は随時受付いたします。(神戸市第2次救急指定病院)

● 診療科目…内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/糖尿病内科/泌尿器内科/人工透析内科/疼痛緩和内科/外科/
消化器外科/整形外科/リウマチ科/リハビリテーション科

● 病 床 数…108床(一般108床うち亜急性8床) ● 面会時間…平日・土 ▶15:00~20:00 日・祝日 ▶11:00~20:00



公共交通機関をご利用の場合

- JR明石駅・山陽電車明石駅より
→ 神姫バス乗り場
② 三木・社、押谷谷方面ゆき(約15分)
③ 西神中央駅方面ゆき(約15分)
→ 変電所前下車
→ 枝吉交差点を西へ(徒歩約5分)
- JR西明石駅より
→ タクシー利用(約10分)

マイカーをご利用の場合

- 国道175号線枝吉交差点を西へ約150m

地域連携室

- TEL 078-928-1700
- FAX 078-928-1772
- メールアドレス renkei@midori-hp.or.jp

地域に根差した医療を行うため近隣の医療機関(診療所および
基幹病院等)、介護・保健施設との緊密な連携を図っていきます。
またご入院されてから安心して入院生活が送られるようにいろ
んな相談も承ります。

ホームページもご覧下さい!!

みどり病院のいろんな情報を、ホームページでも公開しています。
下記アドレスまでアクセスしてください!



みどり病院に入院中の方へのお見舞いメッセージを、
Eメールで送ることができます。詳しくは、みどり病院
ホームページにアクセスして下さい。

<http://www.midori-hp.or.jp>

みどりの風

発行日
2009年 12月 1日

第8号

財団法人
日本医療機能評価機構
認定書受領
医療法人社団 倫生会
みどり病院

編集発行:みどり病院 広報誌作成委員会
所在地:〒651-2133 神戸市西区枝吉1-16
TEL (078) 928-1700 FAX (078) 928-1772

在宅医療と地域連携



みどり病院 内科医 清水 政克

当院では在宅医療懇話会という地域研究会が定期的に開催されております。第1回は「在宅医療の現状と問題点」について地域の開業医の先生方からお話を伺い、第2回は「シームレスな“がん”医療」と題して兵庫県立がんセンターから先生方をお迎えして緩和ケア期における地域連携の現状等について議論を深めてきました。そして迎えた第3回は「真の地域連携のために～在宅医療と訪問看護ステーション～」と題して、神戸市西区及び明石市で在宅医療に取り組む先生方と訪問看護に関わる方々との意見交換の場とすべく平成21年11月14日(土)に当院で懇話会を開催しました。

在宅医療とは医療者が患者さんのご自宅へ訪問して診察や治療を行うことです。その対象となる方は大きく分けて、1)本来は定期的な診察が必要であるが外来通院が困難な方(脳梗塞後遺症、神経筋疾患、重度の心肺疾患、認知症、寝たきり状態など)、2)病状のために在宅療養を希望する方(末期がん患者など)、となっています。そういった患者さんに訪問診療という定期的で継続的な医療サービスを提供することによって、患者さんの在宅療養をサポートすることが現在の在宅医療の本質です。当院では、悪性疾患(がん)などで治療が困難な場合でも、在宅での療養を希望する方にはその意思を最大限に尊重できるようにお手伝いさせていただいております。

在宅医療は在宅療養支援診療所の届け出をした地域の開業医の先生方が担っていることが多く、当院のような入院設備のある病院が地域に在宅医療を提供するという医療モデルは、現在の我が国では非常に珍しい試みです。しかし私たちは、当院のような「病院が取り組む在宅医療」には地域からのニーズや重要な社会的役割が存在する、と考えています。

また、現在の医療情勢においては、一病院完結型医療ではなく地域完結型医療が求められております。そのためには地域社会として患者さんをサポートするシステムの構築が必要となってきます。その足がかりとして私たちは、地域の在宅医という立場で、私を含めた当院の在宅医療チームが兵庫県立がんセンター、明石市立市民病院、明石医療センター、神戸大学医学部附属病院などの基幹病院へ直接出向いて退院前カンファレンスを行い、患者さんのスムーズな在宅医療への移行をサポートする、顔の見える地域連携システムの構築を模索しております。

まだまだ当院の在宅医療や地域連携は発展途上の状態です。私たちは地域の患者さんに適切な医療サービスを提供できるよう、今後も日々努力を重ねていきます。



医療法人社団 倫生会
みどり病院

所在地:〒651-2133 神戸市西区枝吉1-16
TEL (078) 928-1700 (代) FAX (078) 928-1772

「10:1入院基本料を取得して」



看護部長 丸山 桂子

平成18年4月の診療報酬改定により、看護職員1人が受け持つ患者数によって決まる入院基本料を変更し、手厚く看護師を配置した病院はより高い報酬を得られるようになりましたが、当院は、平成21年8月1日付で「10:1入院基本料」の施設基準を取得しました。これまでの「13:1入院基本料」よりも看護職員を多く配置し、患者様に今まで以上の良質で充実した医療・看護を受けていただける体制を整えることが出来ました。

当院も増・改築して約3年になります。工事中は地域の皆様大変ご迷惑をおかけしました。今年度は新入職者も増え、不慣れな対応でご迷惑をかけることがあったかもしれませんが、そのスタッフもようやく慣れてきたところです。

当院の看護師平均年齢は、36歳と比較的若く、

その中でも子育て中の看護師は約60%です。子育てしながらも、働きやすく、笑顔のあるそしてオタガイサマ精神を持ち続けられる職場を目指しています。また確保した人材の定着を図るために、教育体制、労働環境の整備にも努めたいと考えております。スタッフ一人一人が地域の皆様に「みどり病院に通院・入院すると心が安らぐ。」と思っただけのように、患者様・御家族の皆様にも心温まる対応が出来るように、そして誠意は必ず伝わると私は言い続けています。

至らないところもたくさんあると思いますが、患者様・御家族の皆様生の声を聞かせていただき、常に前向きに改善に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



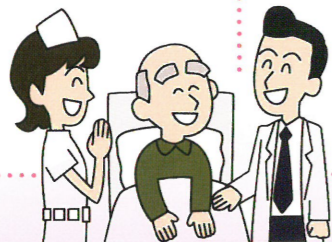
2階病棟師長
今野 せい子

以前の13:1と比較してみると、看護師が残業に費やす身体的な疲労や精神的苦痛を軽減できていると感じています。看護師が増え、一人一人の負担を減らす事ができたので、これまで以上に患者様のケアや療養環境を整え、余裕ある態度で患者サービスに努めています。



3階病棟師長
松本 友美

この春、たくさんの看護職員に入職していただきました。朝のナースセンターは看護師の活気であふれており、夜勤明けの看護師を含めると本当に充実した人数だなど、10:1を改めて実感しております。新入看護師も、日々の業務にもやっと慣れ、頑張ってくれています。これまで以上に、患者様に良質な看護とよりよいサービスの提供をしていきたいと思っています。



地域連携室より

<地域連携業務について>

地域の患者様により良い医療を提供するために、地域連携室は、地域の医療機関との連携を図る上で、適切な橋渡しを行います。当院地域連携室では病病、病診連携および医療相談を中心に業務を行っております。

<病病・病診連携>

病気の治療体制が一病院完結型から地域完結型へと変化しています。連携室では、病状に応じた治療が適切な医療機関で受けられるように、紹介患者様の受け入れ、患者様を紹介する業務を行っております。

<医療相談業務>

- ・医療費の支払い、経済的な不安があるとき
 - ・治療後の療養生活に不安があるとき
 - ・転院、施設入所等を勧められているが、どうすればよいのかわからないとき
 - ・介護保険やその他の地域サービスについて知りたいとき 等
- 地域連携室では、看護師や医療ソーシャルワーカーが患者様や御家族からの相談をお受けしております。ご相談をいただきましたら、院内の医



上段左から
事務次長 津田明彦・事務 濱中亜矢・MSW 細谷亜希子
下段左から
医師 清水政克・副看護部長 内田志緒利

師や専門職種スタッフおよび地域の医療・保健・福祉機関と連携を取りながら、「安心して療養できる環境」について患者様・御家族と一緒に考えさせていただきます。

<勉強会開催・勉強会への参加>

患者様・御家族の方に安心して地域で過ごしていただくために、当院で勉強会を開催し、地域の医療機関の皆様方にお越しいただいたり、阪神間・東播磨地区の各種集まりに積極的に参加し、顔の見える連携(Face to Faceの連携)に力を入れております。

第三回在宅医療懇話会、盛況裡に開催



去る11月14日(土)午後2時半から5時、当院リハビリ室にて、「真の地域連携のために～在宅医療と訪問看護ステーション～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

パネラーは、中村宏臣先生(中村医院)、金里充哲先生(かなさと内科医院)、長田敏子さん(たまつ訪問看護ステーション)、山田小百合さん(ひとまる訪問看護ステーション)、大西智美さん(兵庫県立がんセ

ンター地域医療連携室)、清水文絵さん(ニチイケアセンター西神中央)の6氏。

参加者は、開業医、訪問看護師、ケアマネジャーほか、西区、明石の関係者106名。

「顔の見える」地域連携をめざして、2年前から年1回、開催しています。

